

# ▶ KASPERSKY ENDPOINT SECURITY FOR BUSINESS

## 暗号化機能 (2014 年提供開始予定)

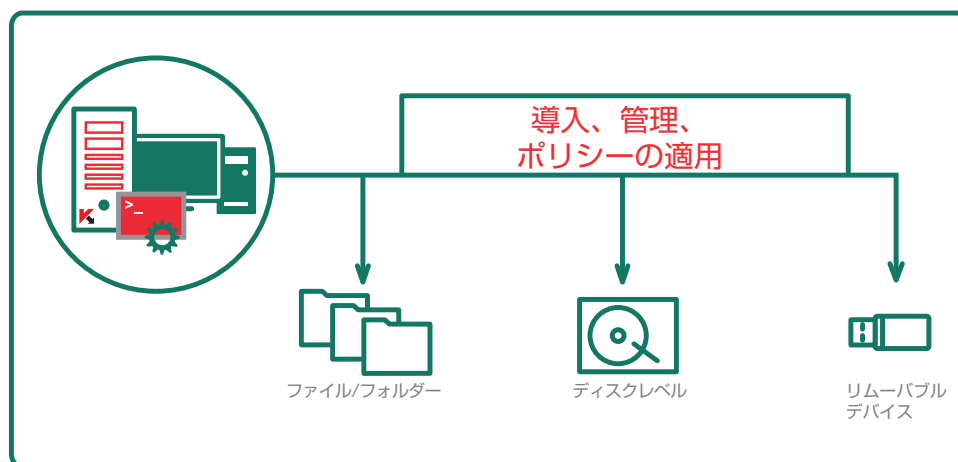
暗号化は、PC またはリムーバブルデバイスを紛失してしまった場合の第三者への情報流出を防止します。

カスペルスキーの暗号化機能は、PC やデバイスの置き忘れや盗難を原因とするセキュリティー事故から重要なデータを保護します。強力な暗号化機能を、エンドポイント保護製品に統合するだけでなく、単一の管理コンソールから容易に導入、配置および管理することができます。

カスペルスキーの  
暗号化テクノロジーで  
データを簡単かつ  
安全に保護

- ディスクレベル
- ファイル/ フォルダレベル
- リムーバブルおよび内蔵デバイス

単一の管理コンソールに  
よる管理



### 強力な暗号化

カスペルスキーでは、キー長が 256 ビットの AES 暗号化アルゴリズムを採用しています。

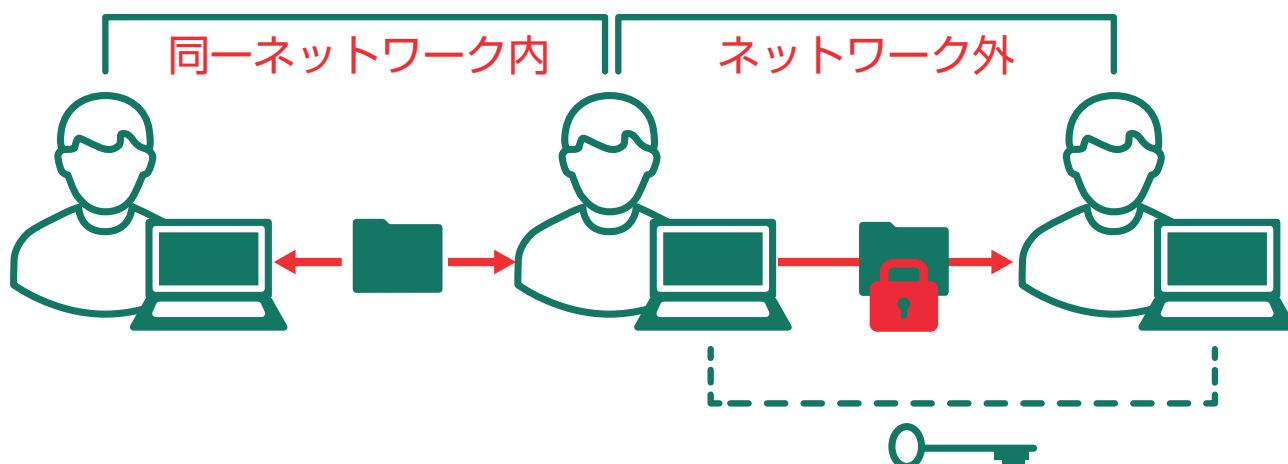
### 暗号化範囲の選択における柔軟性

さまざまな要件に対応するために、ファイルやフォルダレベルの暗号化 (FLE:File Level Encryption) およびディスクレベルの暗号化 (FDE:Full Disk Encryption) の両方式を、ハードディスクとリムーバブルデバイスのデータ保護に利用できます。

### エンドユーザーに対する透過性

暗号化はすべてのアプリケーションに対して常に透過的に機能し、ユーザーは暗号化を意識することなく情報を保護することができます。また、暗号化されたシステムへのシングルサインオンによるアクセス制御に基づいてデータへのアクセスを管理し保護することができます。

ファイルを共有する場合、同じネットワーク内であれば暗号化されていても特別な操作をせずにアクセスすることが可能です。外部のユーザーに暗号化されたファイルを送ると、パスワードによって保護されます。



#### 主な特徴：

##### 統合化された一元管理ツール

すべての機能を単一の管理画面で管理することができますので、マルウェアからの保護、エンドポイントコントロール、暗号化の機能を管理するために、個別の管理ツールで別々に管理する必要がありません。

##### 各組織に合わせたポリシー設定

各組織、グループのセキュリティ要件に合わせ、単一のポリシーにさまざまな設定を組み込むことができます。たとえば、IT 管理者は、認められたリムーバブルメディアの接続のみを許可すると同時に、同じデバイスに暗号化ポリシーも適用できます（デバイスコントロールのポリシーと暗号化ポリシーの一元管理）。

##### カスタマイズが可能な「定義済み設定」

暗号化の設定は、[マイ ドキュメント]、[デスクトップ]、[新しいフォルダ] などの一般的なフォルダー、一般的なファイル拡張子、および一般的なファイル拡張子のグループ（Microsoft Office の文書、メールメッセージのアーカイブなど）に対して事前に定義されており、容易にカスタマイズが可能です。

##### 緊急用キーの一元管理

この機能により、セキュリティ管理者は、ハードウェアまたはソフトウェアで障害が発生した場合にドライブ上のデータを復号化できます。

##### ユーザーパスワードの復元

ユーザーは、チャレンジ/レスポンス認証メカニズムを通して、起動前（pre-boot）のパスワードや暗号化されたデータを復元することができます。

## 購入方法

カスペルスキーの暗号化機能は **Kaspersky Endpoint Security for Business Advanced**（2014 年提供開始予定）に含まれています。

プラットフォームによっては利用できない機能があります。詳細については、[www.kaspersky.co.jp](http://www.kaspersky.co.jp) をご覧ください。